



## 奥日光山系環境学習

6月8日(土)に、5月の宇都宮大学教授小金澤先生の日光・尾瀬・足尾の自然と生態系に関する出張講義と本校教員による足尾の歴史と科学的考察の一斉授業に続き、今回は1・2年生の希望者28名で実際に現地へ赴き環境学習を行いました。

### 【足尾】



NPO法人「足尾に緑を育てる会」の方々から植樹の歴史や現状などの説明を受け、松木沢溪谷付近で植樹を行いました。苗木とスコップを手にした生徒たちは、元気よく植樹する場所を目指して急な斜面を登りました。その途中、成長した樹木を眺め、荒廃した山でも木々が育つことを実感していました。植樹は担当者からの指導のもと進められ、初めて体験する生徒たちの熱心な姿を見ることができました。また、植樹したコナラについて、樹種の特徴や生育条件

などについて質問するなど、意欲的に取り組んでいる生徒も見ることができました。今回の活動から生徒たちは、

「木はすぐには育たない、すべての苗が生長するわけではない」ことを再認識し、植樹活動は継続的に取り組んでいくことが重要であること、破壊された自然の回復には、長い年月が必要であることを学びました。作業を終えた生徒たちからは、「自分が植えた場所を10年後に見てみたい」、

「またこのような活動に参加したい」という声が多数あり、自然環境について興味・関心をもつ貴重な体験になりました。



## 【日 光】

植樹活動を終えた生徒たちは、日光霧降に向かいました。ここでは日光の自然環境を肌で感じようと「日光霧降自然体験」を実施しました。実施に当たり、NPO法人国際自然大学校（日光霧降校）の金井校長に案内をしていただくことになりました。今回の目的は、「一般の人ではなかなか見ることのできない、霧降の滝を下から眺めてみよう」、「森の自然と自然に減んでいく姿を対比させてみよう」というものでした。この内容から、楽しみにする生徒や不安な表情を浮かべる生徒



もいました。滝つぼまでの道のりはやや険しく、滑らないように必死になりながらも、途中で見つけた昆虫や植物などについて話しをする生徒や写真を撮る生徒など楽しい様子を見ることができました。また、年々山ビルが多くなっていることなど自然環境や生態系の変化について知識を得ながら進むことができました。滝つぼに着き、そこから見上げる霧降の滝は壮大なもので生徒たちからは感動の声が上がりました。滝を眺めながら水に入る生徒も多く見られ、「自然」を十分に満喫している様子を見ることが

できました。今回の自然体験で、生徒から、「学校や日常生活では体験できない「自然」を肌で感じとることができ貴重な体験をすることができた。」という感想を聞くことができました。

